

(市長記者会見資料)

平成20年12月17日
京 都 市
〔 担当 建設局調整管理課
河川整備課
電話 222-3568
222-3591 〕

～木の文化を大切にするまち・京都、美しいまちづくりのために！～
間伐材を利用したベンチや横断防止柵の整備について

京都市では、環境モデル都市を目指す本市のシンボルプロジェクトとして、市民会議を立ち上げ、市民の皆様と行政とが一体となり、「木の文化を大切にするまち」づくりに取り組めます。

今年度の「堀川水辺環境整備事業」における間伐材を利用したベンチの設置に引き続き、市民会議で議論いただく森林資源の活用に関連した京都市の実践行動として、平成21年度では、世界文化遺産・二条城の周辺に、間伐材を利用した横断防止柵の整備を予定しています。

京都未来まちづくりプランに掲げている「世界でもっとも美しい都市・京都」の推進に取り組むとともに、森林の間伐の促進により、低炭素社会の実現に貢献します。

記

1 平成20年度の間伐材を利用した取組

【堀川水辺環境整備事業】

今出川通から榎木町通にかけて、7基の座板加工ベンチを設置しました。

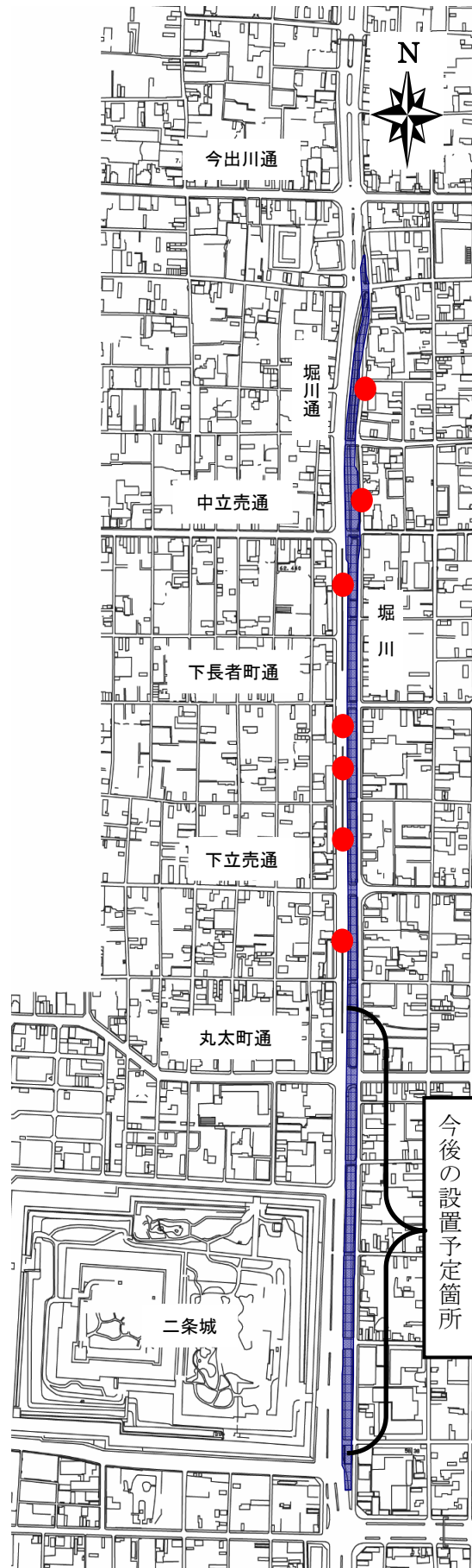
引き続き、堀川の通水までに榎木町通から押小路通にかけて、間伐材を利用したベンチの設置に取り組んでいます。

<座板加工ベンチ設置写真>



堀川水辺環境整備事業におけるベンチの設置箇所等

<座板加工ベンチ設置済箇所・・・●>



2 平成21年度の間伐材を利用した取組

【横断防止柵整備事業】

京都市の管理施設である世界文化遺産・二条城の周辺で、既存の鋼鉄製の横断防止柵に換えて、木製のものを設置する予定です。

耐久性や維持管理上の課題を検証し、これを「木の文化を大切にすまち・京都」市民会議に還元します。

<他都市における間伐材を使った柵の設置例>

